

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年6月13日 No.56

集団訴訟あらたなたたかへ

訴訟の全面解決、新認定基準の再改訂もため
大野松茂官房副長官に申し入れ

これいじょう被爆者をいじめないで



原爆症認定集団訴訟全国原告団、同弁護団、同支援ネットは6月10日から12日まで、先週に続く第2次座り込みを行い、のべ6地域から30人の原告はじめ、多くの被爆者・弁護士・支援者が参加しました。

10日午前の閣議終了後、舛添厚生労働大臣が会見で「仙台と大阪高裁の判決については控訴を断念するが、他の裁判に関しては高裁の判断を仰ぎたい」と発言したことに對して、抗議の意味を込めて原告全員

の一括解決・新認定基準の再改訂を求めるもの。

この間の運動の広がりを受けて、最終日の12日には大野松茂・官房副長官との面談が実現し、宮原哲朗・全国弁連事務局長、田中熙巳・日本被団協事務局長、山本英典・全国原告団長、中山孝光・全国原告団副団長、玉本晴英・広島原告団副団長の5人が官邸に入り、官房副長官に申し入れを行いました。原告の訴えを聞いた大野官房副長官は、「重く受け止める」とのべました。

まとめ集会では、1ヶ月間におよぶ行動の中で、被爆の残酷さ、厚労省の冷たい行政を明らかにすると同時に、核兵器廃絶の声を世論に大きく伝えたことを全員で確認し、福田首相が8月に広島・長崎を訪れる前に解決させることを誓い合いました。

1万8200名余の署名とともに日本被団協へ支援募金

高草木博・日本原水協事務局長は6月11日、都内で開かれていた日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の第53回全国総会で、藤平典・日本被団協代表委員に原爆症認定集団訴訟支援募金を手渡しました。

高草木氏は、「仙台、大阪の二つの控訴審判決で原告全員の勝訴判決を勝ち取られたことへ心からお喜び申し上げます」と述べ、「私たちは、国がこれ以上被爆者を苦しめることなく、ただちに訴訟の全面解決をはかり、被爆者救済の基本的な見地から被爆者援護・補償行政を改善するようみなさんと一緒にさらに運動をつよめます」と決意をこめてあいさつし、全国から寄せられた支援募金を手渡すとともに、この間、1万8200名余の署名が都道府県原水協と中央団体から集約されていることを紹介しました。

その後、座り込みをつづける厚労省前のテントに、全国各地の草の根で市民と対話し、集められた署名を届け原告・被爆者を激励しました。

日本被団協第53回総会で藤平代表委員に募金を手渡す高草木氏



世界大会代表派遣運動を大きく
大会パンフの学習会を各地で広げよう